

# 1 名詞(句)を説明するカタマリを見ぬく

本冊 p.4 例題の解答

- 1 a) レストランで使われている皿が食べ物[料理]の味に影響を及ぼす
- b) ビタミンEを含む食品を食べること

2 私たちが抑えるべき[抑制しなければならない]感情である

実践1 (本冊 p.5)

解答

- (1) 全訳 下線部 1)を参照. (2) 全訳 下線部 2)を参照.
- (3) ・貴重な金属がより安く[安価で]入手しやすくなること. / ・環境により優しくなること.

設問解説

- (1) 英文構造を Check! 1を参照. (2) 英文構造を Check! 4を参照.
- (3) 英文構造を Check! 6を参照. <not only A but also B>「AだけでなくBも」に注意.

全訳

1)都会版採掘者が直面している問題は、十分な[必要な](台)数の電話を手に入れることである。携帯電話の安定した売り上げと環境への高まる懸念がある〔→携帯電話の需要は安定しており、環境への懸念も高まっている〕にもかかわらず、古い携帯電話のおよそ10%から20%しかリサイクルされていない。多くの人が自分の古い携帯電話を手放さないのは、2)そこに残っている個人データ[情報]のことを心配しているからである。しかしながら、今ではそのようなデータは安全に消去することができるので、より多くの人のリサイクルを始める〔→リサイクルを始める人が多くなる〕だろう。もし都会版採掘がもっと一般的になれば、貴重な金属がより安く入手しやすくなるだけでなく、環境により優しくもなるだろう。

英文構造を Check!

1 The problem urban miners are facing is getting enough phones.

- ◆ the problem を、「S'+V'」の urban miners are facing が説明している。are facing の目的語が the problem であることに注意。この文の主語を the problem urban miners, 動詞を are facing とみなすと、are facing is と動詞が2つ続くことになるので、間違いとわかる。Clue2
- ◆ getting enough phones は動名詞句で、「十分な(台)数の電話を手に入れること」の意味。

誤訳例 is getting enough phones (VO) という現在進行形とみなし、「十分な(台)数の電話を手に入れつつある」と訳すのは×。

4 they are worried about the personal data left on them

- ◆ 主語の they は、many people をさしている。
- ◆ <be worried about ~> は「~(のこと)を心配している」の意味。
- ◆ the personal data を、「過去分詞+~」の left on them(=their old phones)が説明している。left を動詞の過去形とみなさないように注意。Clue1

6 it will not only make precious metals cheaper and more available but will also be better for the environment

◆ it は、if-節の内容をさしている。

◆ 〈make+O+C〉は「OをCにする」の意味。and は、比較級の cheaper と more available をつないでいる。

**実践 2** (本冊 p. 5)

**解 答**

- (1) **全訳** 下線部 1)を参照. (2) **全訳** 下線部 2)を参照.
- (3) マイクロ波が起こした熱を利用して食品を加熱調理するという考え.

**設問解説**

- (1) **英文構造を Check!** 1を参照. (2) **英文構造を Check!** 2を参照.
- (3) I. 5 の think of using *this heat* to cook food を参照. *this heat* の部分は, I. 4 の microwaves generate heat から「マイクロ波が起こした熱」のように具体的に書くこと.
- 英文構造を Check!** 4も参照.

**全 訳**

1)科学は「セレンディピティ」、つまり幸運な偶然によってなされた[幸運な偶然による]発見の話に富んでいる。レイセオン社で働いているとき、2)パーシー・スペンサーは自分が取り組んでいるレーダーから出る[放出される]マイクロ波がポケットの中にあった[入っていた]チョコレートを溶かしていたと気がついた。マイクロ波が熱を起こすことに気がついたのは彼が初めて(の人)ではなかったが、食品を加熱調理するためにこの熱を利用する[この熱を利用して食品を加熱調理する]ことを思いついたのは、彼が初めて(の人)だった。その後、レイセオン社はスペンサーの考えを商工業用として使うために発展させた。

**英文構造を Check!**

1 Science is rich in stories of “serendipity” — a discovery made by lucky chance.

- ◆ 〈be rich in ~〉は「～が豊富である, ～に富んでいる」の意味。
- 例** Canada is rich in natural resources. (カナダは天然資源が豊富である。)
- ◆ 名詞(句)の A と B が 〈A—B〉の形の場合, 最初の A を後ろの B が補足説明していることが多い。ここでは, “serendipity” という用語を, ダッシュ(—)に続く名詞句の a discovery ... lucky chance がわかりやすく言いかえている。
- ◆ a discovery を, 「過去分詞+～」の made by lucky chance が説明している。 **Clue1**
- ◆ make a discovery は, 動詞 discover 「～を発見する」を〈動詞+名詞〉の形を使って表したものである。
- ほかに, make a promise(=promise)や make a decision(=decide)なども同じ形をとる。

**誤訳例** この make を「～を作る」の意味で訳すのは×。

2 While working for the Raytheon company, Percy Spencer noticed that microwaves from the radar set he was working on had melted the candy bar in his pocket.

- ◆ 接続詞 while 「～する間(に)」に続く 〈S'+be 動詞〉は S'が主節の主語と同じ場合は, 省略されることがある。ここでは, he(=Percy Spencer) was が省略されている。
- ◆ noticed の目的語は, that-節の that microwaves ... his pocket である。

- ◆ the radar set を、「S'+V'」の he was working on が説明している。「彼が取り組んでいるレーダー」の意味。was working on の目的語が the radar set であることに注意。 **Clue2**  
**誤訳例** on を「(場所)で」とみなし、「彼が働いていたレーダー」などと訳すのは×。
- ◆ had melted と過去完了形になっているのは、noticed より「前」に起こったでき事であることを示すためである。

4 he was the first person to think of using this heat to cook food

- ◆ to-不定詞は未来のを表すことが多いが、the first[second, third, etc.], the last, the onlyなどを伴う名詞を修飾する場合は、「～した…」と過去に起こったことも表すことができる。ここでは、the first person を to think ... cook food が説明しており、「～を思いついた初めての人」の意味を表す。
- ◆ 〈use+O+to (V)〉は「(V)するために O を使う」、「O を使って (V)する」のいずれで訳しても可。